

特集 海のカメさん、所沢に行く。

～所沢市民が海を救う～



軽くて丈夫、しかも安価で手に入りやすいプラスチック製品。いまや私たちの暮らしに欠かせないものです。しかし、そんな便利なプラスチック製品が、使い捨てられてごみとなり、ポイ捨てや間違った分別などの結果、川を通じて最終的に海を汚していることをご存じですか？

海なし県の所沢市民も関係する問題を、海のカメさんが教えてくれます。

☎資源循環推進課 ☎ 2998-9146

紙芝居から飛び出して みんなに海のことを 伝えに来たよ！



◎カメさんが海のプラスチックごみのことを教えてくれる紙芝居『ひろいうみのおはなし(所沢市作成)』は、所沢図書館や市HP(Q紙芝居)でご覧になれます。



海のプラスチックごみの重さが魚の重さを上回る？

海を埋め尽くすプラスチックごみ

海に囲まれた日本に暮らす私たち。その海を埋め尽くそうとしている“身近なごみ”を知っていますか？

世界の海には、すでに1億5千万トンを超えるプラスチックごみが存在していて、現在、1年間に少なくともジャンボジェット機5万機分(800万トン)のプラスチックごみが世界の国から流れ込んでいます。このままでは、2050年までに海のプラスチックごみの重さが、海にいる魚の重さを上回るという衝撃的な予測がされているのです(右図参照)。

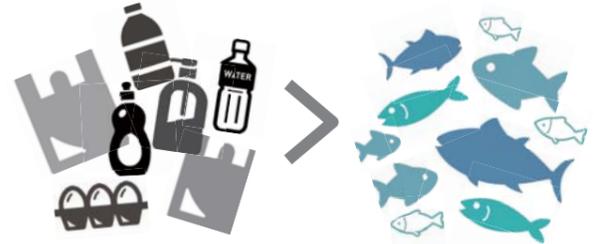
世界で発生するプラスチックごみの47%は、私たちの努力次第で減らすことができるペットボトルや食品トレーなどの容器包装に使われるプラスチックです。そして、それらプラスチックごみの**一人当たりの発生量が世界で2番目に多い国は、なんと日本。**つまり、私たちの努力で海を汚すプラスチックごみを減らすことができるのです。

「所沢には海がないから関係ないな」と思ったあなた。今、あなたが食べている魚たちが暮らす海は、全て市内の川とつながっています。そう、他人事ではないのです。

2050年の予測

海のプラスチックごみ

海の魚たち



世界経済フォーラムは、2050年までに「海のプラスチックごみの重さが海にいる魚の重さを上回る」と予測を発表。



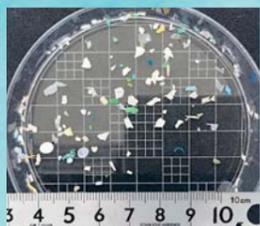
出典：NOAA アメリカ海洋大気局
▲ハワイの海岸で見つかった日本の飲料用プラスチック容器。日本のごみが、海を渡って海外まで流れ着いているのです。

小さなプラごみを食べた魚たちが、みんなの食卓に上っているかもしれないんだ



海を漂う5mm以下のプラごみたち

5mm以下の細かいプラスチックをマイクロプラスチックといいます。マイクロプラスチックを食べた魚を人が食べた場合、健康に影響が出るのでは？と懸念されています。



提供：九州大学 磯辺研究室



海とつながっている私たちの暮らし

所沢は、川を通じてボクらが暮らす海につながっているよ

